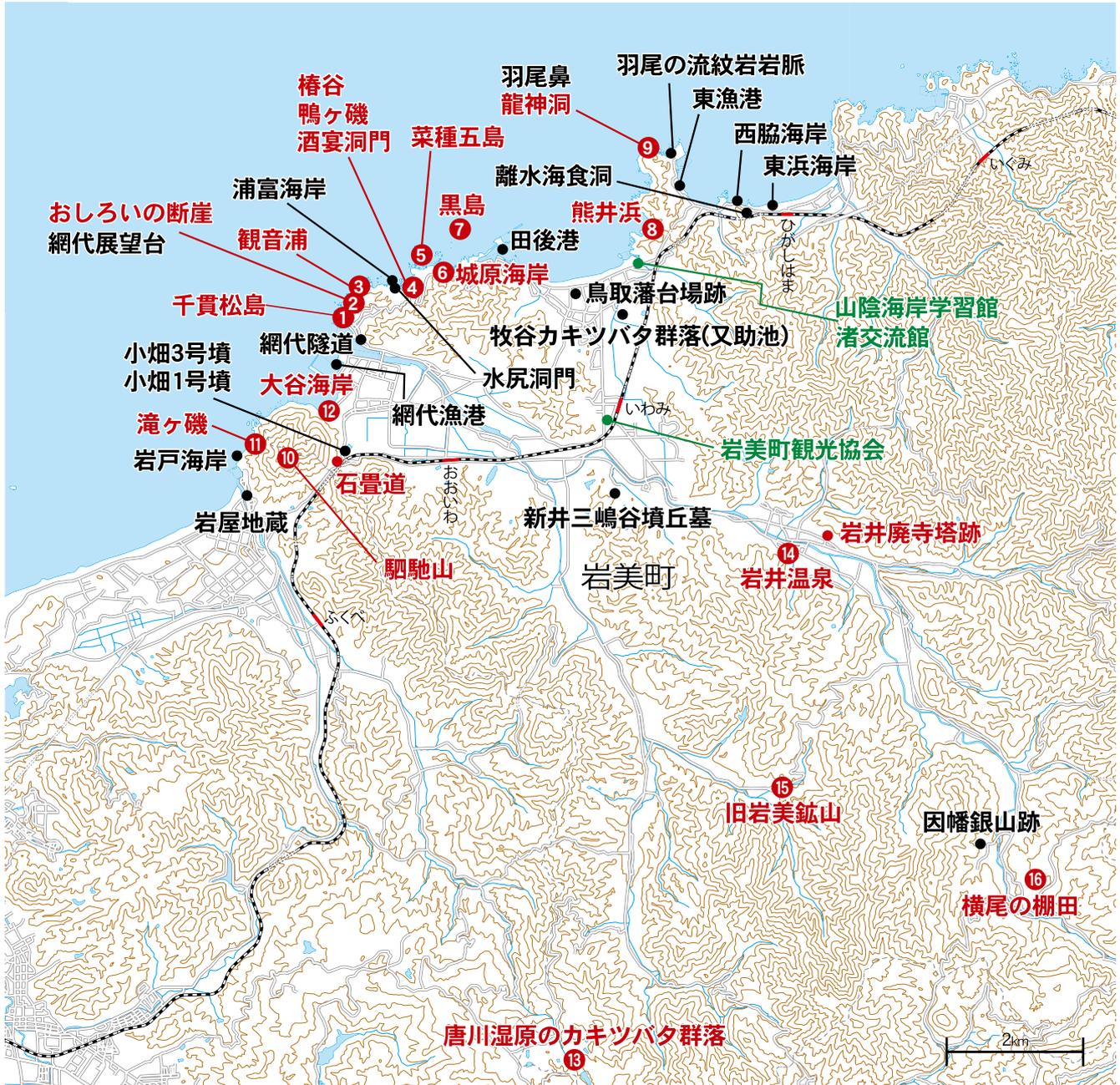


うらどめかいがん しちやま いわいおんせん
浦富海岸 / 駟馳山 / 岩井温泉
ジオサイトマップ



花崗岩の優美な海岸と火山岩の山岳地帯のコントラスト

浦富海岸エリアは、鳥取県の東端に位置します。浦富海岸は花崗岩特有の優美な海岸線を有し、国の名勝・天然記念物に指定されています。多くの窯元や湯かむりで知られる岩井温泉があり、鉾山、カキツバタの群生地のある湿地、横尾の棚田など、特徴ある地質遺産が見られるのもこの特徴です。



42、浦富海岸ジオサイト

大陸の時代の花崗岩が作る海食地形 ～日本海形成前の花崗岩が作る岩石海岸のサイト～

せんがんまつしま
千貫松島

鳥取県岩美郡岩美町網代 MAP P.78-①



ひとくも

●浦富海岸島めぐり遊覧船

変化に富んだ海岸地形や美しい景観をゆったりと遊覧できます。大型遊覧船では通れない洞門や洞窟、水深の浅い入り江にも入る小型船「うらどめ号」もあり、箱



めがねで海中観察も楽しめます。

(遊覧船)【期】3月～11月 【時】約40分/回

【料】大人1,300円、小人650円

(うらどめ号)【期】4月～10月 【時】約50分/回

【料】大人2,100円、小人1,500円

※気象条件に左右されやすい為、運休の場合あり

(問)山陰松島遊覧株式会社 TEL.0857-73-1212

かこうがん

花崗岩の離れ岩で、トンネルのように穴が貫通した洞門ができています。「千貫松島」という名称は、鳥取藩2代藩主・池田綱清が島の上の松を見て、「銀千貫を出しても惜しくない松だ」と言ったことから、その松は「千貫松」と呼ばれ、そこから名付けられたとされています。

当時の松は枯れましたが、今は2代目の松が育ち、海の青、岩と松とのコントラストが絶景です。

エリア&ガイド情報

鳥取県立山陰海岸学習館



山陰海岸学習館は「山陰海岸ジオパーク」の魅力をさまざまな資料や映像で紹介しています。

体験学習コーナーでは山陰海岸の砂や生きものを観察することができ、さまざまな体験学習相談にも利用できます。また、年間を通して、野外観察会や自然講座なども行っています。

【所】鳥取県岩美郡岩美町牧谷1794-4 【料】入館無料

【時】9時～17時(7～8月の毎週土曜日は18時まで開館)

【休】月曜、祝日の翌日(日曜日または休日の場合を除く)、年末年始休館(7/20～8/31は毎日開館)

【問】0857-73-1445

エリア&ガイド情報

岩美町立渚交流館



ログハウス棟には、ウェットスーツやマスク、フィンが完備され、近くの海岸で指導員によるシュノーケリングも行われています(6～10月)。本館町民ギャラリーは、会議や各種団体の練習場所として利用される他、コンサート、アート作品展示などのイベントにも利用できます。また、誰でも気軽に楽しめる化石レプリカ体験(通年)も実施しています。

【所】鳥取県岩美郡岩美町牧谷690-20 【料】入館無料

【時】9時～18時 【休】月曜(祝日の場合は翌日振替)、7/20～8/31は毎日開館、12/29～1/3

【問】0857-73-0118

おしろいの断崖

鳥取県岩美郡岩美町網代 MAP P.78-②



自然歩道を^{あじろ}網代集落から^{こくぞうさん}虚空蔵山の東を抜けると岩壁が海鳥のフンで白くなった絶壁（海食崖）が広がります。高さ70mにも達する絶壁は、「おしろいの断崖」と呼ばれ、山陰海岸の中でも屈指の規模を有しています。

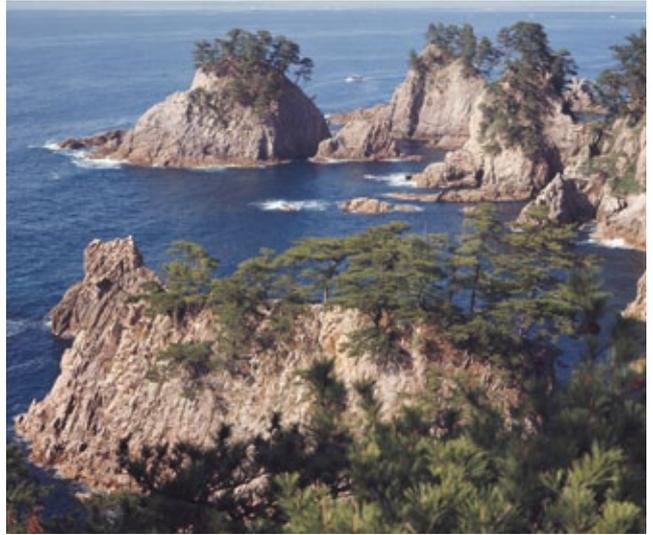
かもがいそ
鴨ヶ磯

鴨ヶ磯は、浦富海岸の中でも特に優れた絶景地で、西から順に「小鴨ヶ磯」、「椿谷」、「大鴨ヶ磯」といわれ、まとめて鴨ヶ磯と呼んでいます。

ここは、入江が入り組み、箱庭のような美しい景観を見ることができます。この辺りの砂浜は、^{かこうがん}花崗岩を構成している長石・石英の砂が多く、天気の良い日には砂浜がキラキラ輝いて見えます。

観音浦

鳥取県岩美郡岩美町網代 MAP P.78-③



網代展望台から見た離れ岩が連続した風景。海上の庭園かと思間違ふこの場所は「観音浦」と呼ばれ、節理が美しい花崗岩でできています。また、この付近は洞窟（海食洞）が多く点在している場所であり、海上から見るとよりはっきりと観察できます。

鳥取県岩美郡岩美町田後 MAP P.78-④



● 椿谷

このあたり一帯の花崗岩を貫く岩脈で、柱状節理が発達しています。花崗岩の隙間に、新たにマグマが入り込んで冷却をして、柱状節理ができました。



● 酒宴洞門

鴨ヶ磯から菜種島・城原海岸にかけての9.8haの海域は、海水の透明度が極めて高く、光が海中深くまで届くため海藻類が繁茂し、魚介類の生息に適し、生態系が貴重なことから海域公園地区に指定されています。大鴨ヶ磯の東端に位置する「洞門」は、昭和2年に文人・島崎藤村が浦富を訪れた時、この景観に心を奪われ命名されたと伝えられており、酒宴洞門の東の入り江には、波食棚を見ることができます。



花崗岩の礫からなる礫浜と、石英砂の砂浜からなり、磯と小島の間には、柱状節理の発達したピンク色の石英斑岩の岩脈が露出しています。この海岸の北側には陸に連なる島々「菜種五島」があり、沖合の一番大きな「菜種島」は、春になると断崖に菜の花が咲き乱れます。

ひとろも

●浦富海岸自然探勝路

網代より鴨ヶ磯を経て城原海岸から県道へ至る散策路。リアス海岸に沿って約2.7kmの遊歩道が整備されています。各ポイントに設けられた展望台からの眺めは見事なものです。



また、漂着したロシア軍将兵を手厚く吊った記念碑は、日露戦争時代の美談を今に伝えています。

ひとろも

●離れ岩のできかた

陸に連なる島々「菜種五島」は、かつてはひとつの小さな岬として連なっていました。海水による侵食を受けて海食洞



ができ、洞が貫通して洞門に、さらに頂上部が落ちて離れ岩になります。「菜種五島」は、洞窟→洞門→離れ岩の過程を経て、今日の姿に至ったものです。

黒島

鳥取県岩美郡岩美町田後 MAP P.78-⑦



黒島は、城原海岸から北東方向600mほど沖合にある岩礁で、一見黒ずんで見えるためこの名がつけました。海岸や周辺の島が白っぽい花崗岩であるのに対して、この岩礁だけ黒っぽい凝灰角礫岩からなっています。これは、羽尾岬の基部から伸びた断層が城原海岸と黒島の間に入り、城原海岸とは違う岩石が分布しているためです。

42、浦富海岸ジオサイト

くまいはま 熊井浜

鳥取県岩美郡岩美町牧谷 MAP P.78-⑧



羽尾岬の付け根にあるポケットビーチ。砂浜の南側は白っぽい花崗岩の崖、北側は対照的に黒っぽい凝灰角礫岩^{れきがん}の崖が続いています。これは、この浜を境に断層があり、周辺の植生も地質に対応して、南側の保水力の低い花崗岩地域の松林から、北側の保水力の高い凝灰角礫岩地域の照葉樹林へと変わります。

龍神洞

鳥取県岩美郡岩美町大羽尾 MAP P.78-⑨



龍神洞は、山陰海岸最大級の海食洞で、幅8m、高さ10m、奥行きが150mもあり、モモジロコウモリなど希少な生物が生息しています。洞窟の内壁には白っぽいあられ石がつららの様に垂れ下がり、一見、鍾乳洞を思わせます。

43、駟馳山ジオサイト

鳥取砂丘と浦富海岸をつなぐ山 ～第三紀の堆積岩や鮮新世の火山岩でできた海に突き出た山のサイト～

しちやま 駟馳山

鳥取県岩美郡岩美町 MAP P.78-⑩



駟馳山は、岩美町と鳥取市の境界にあり、日本海に面した高さ314mの山です。火砕岩や砂岩、泥岩の上を固い流紋岩が覆っているため、山として残ったものです。旧山陰道の駟馳山峠には1811年に作られた石畳道の一部が残っています。

43、駟馳山ジオサイト

たきが いそ
滝ヶ磯

鳥取県鳥取市福部町岩戸 MAP P.78-⑪



しちやま
駟馳山をつくる地層に入りこんだ大規模な安山岩の岩脈（幅150m・高さ100m）が見られ、降雨後に柱状節理の上部から滝のように水が流れ落ちる光景からこの名前がつけました。

おおたに
大谷西海岸

鳥取県岩美郡岩美町大谷 MAP P.78-⑫



細かい粒子の砂浜と大きな石が転がった礫砂が広がっています。礫浜を構成する礫は、駟馳山から運ばれた岩石で、日本海ができる時の水中にたまった地層や火山活動でできたさまざまな模様や色の岩石が転がっています。また、中にはしょうしがん松脂岩という珍しい石も見られます。

44、岩井温泉ジオサイト

日本最古級の鉱山と歴史ある温泉 ～7世紀から採掘されていた鉱山と9世紀から利用されていた温泉のサイト～

からかわしつげん
唐川湿原のカキツバタ群落

鳥取県岩美郡岩美町唐川 MAP P.78-⑬



標高約400mの谷間にできた湿原に、自生したカキツバタの大群落がみられ、国の天然記念物になっています。花は5月末～6月中旬に咲きます。その他にも希少な湿地性植物が生育し、ハッチョウトンボなどの貴重な動物も生息しています。岩美町内には、牧谷にも浦富砂丘の後背地にできた湿地にカキツバタが自生しています。

いわい 岩井温泉

鳥取県岩美郡岩美町岩井 MAP P.78-14



ひ と 口 め も

●岩井廃寺塔跡

岩井は当時の河口近くに位置して栄えていたと推定され、それを示すものが御湯神社前の白鳳寺院の岩井廃寺跡にあります。三重塔心石(国史跡)は直径3.6m、短径2.4mの巨大な凝灰岩に心柱を受ける孔が穿たれており、その形状から通称「鬼のお碗」と呼ばれています。

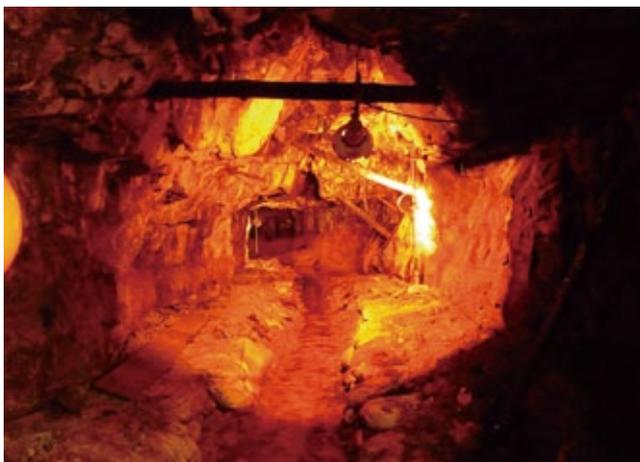
河合谷高原の天神池に源を発する蒲生川の中流域に岩井温泉が湧出しています。泉質はカルシウム・ナトリウム硫酸塩泉で、泉温は平均48℃、源泉掛け流し温泉です。優れた効能、周辺的环境などから環境省の「国民保養温泉地」に指定されています。開湯は811年とされ、1,200年の歴史を有しています。

また、「湯かむり」は頭に手ぬぐいを乗せ、柄杓で湯をかむるといふ、岩井温泉独特の江戸時代から伝わる珍しい風習(入浴法)です。湯治の徒然をなくさめるためとも、少しでも長く湯につかり効能にあやかるといわれるこの風習に欠かせないのが「湯かむり唄」です。「岩井八景づくし」「芸題づくし」「忠臣蔵づくし」などの形式があります。

いずれも数え歌形式で長いものではなんと100番までもあると言われています。ポカポカと湯をたたきながら唄うものなのでリズムカルでユーモアたっぷりです。

旧岩美鉱山

鳥取県岩美郡岩美町荒金 MAP P.78-15



鳥取層群の流紋岩に発達した熱水鉱脈鉱床で、銅鉱石を主体とした鉱山です。日本海形成に伴う金属鉱床の形成、その後の金属資源開発の歴史、廃坑後の環境問題・地震災害などについて学ぶことができます。

横尾の棚田

鳥取県岩美郡岩美町横尾 MAP P.78-16



旧山陰道蒲生峠から蒲生川上流部へかけての岩美町横尾地区では、地すべりによってできた緩斜面を利用して棚田が作られています。地すべり地は水が豊富で、棚田の米は格別に美味しいと言われています。棚田は、国土や生態系の保全、美しい景観の提供、棚田を護る人たちのコミュニティの形成など多くの機能を果たしていますが、それらを通して地質と暮らしとが深く結びついていることを学ぶことができます。横尾の棚田は「日本の棚田百選」の一つです。